

神保原駅北まちづくり「まちなか再生ワークショップ」について

1. ワークショップの目的

上里町では、令和5年3月に策定した神保原駅北まちづくり基本計画(以下、「基本計画」)の推進にあたり、駅北周辺の魅力の向上や活性化を図ることで、コンパクトで持続可能なまちづくりの実現を目指しています。

それには、駅北まちづくりの骨格軸である県道神保原停車場線(以下、「駅前通り」)の沿道や駅前広場等について、基本計画に位置付けられている整備方針を基に、そこに訪れたいくなる居心地のよい空間や環境を整えることが必要と考えています。

「まちなか再生ワークショップ」では、駅前通り及び駅前広場のウォーカブル空間(※)のあり方を検討し、Local(地元住民)会議との連携により、駅北の賑わいや良好な市街地環境の創出に向け参加者全員で考えていきます。

※ウォーカブル空間…道路を車中心から“人中心”へ再構築し、沿道と路上の一体的な利用により多様な活動ができる居心地の良い場を創出することで、人々が憩い集うことができ歩きたくなる空間。

ウォーカブル空間イメージ



2. 開催内容

1 開催日程

| 実施回 | 期日・会場 | 内容 |
|-----|--|---|
| 第1回 | 令和6年2月4日(日) 午前 10:00~12:00 福祉町民センター2F 研修室 | 【みちの使い方を考える】 道路の線形図を用いて、みちの使い方を考えます。 拡幅パターンと残地形形状比較と使い方の意見交換をします。 |
| 第2回 | 令和6年2月17日(土) 午前 10:00~12:00 福祉町民センター2F 研修室 | 【まち全体の使い方を考える】 まち(神保原駅北エリア)を歩いて「使いたい」と思った場所や住宅などを提示し合い、意見交換をします。 |
| 第3回 | ※調整中のため、決まり次第 お知らせいたします。 (4月下旬以降を予定) | 【ウォーカブル空間配置計画図(案)を考える】 ローカル会議の議論の内容を統合してまち全体の将来の使い方のイメージ図を作成します。 |

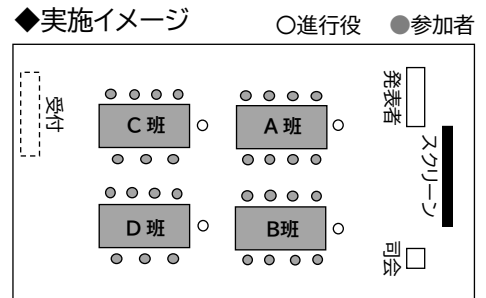
※内容は検討状況等により変更となる場合があります。

2 参加者数 30名程度

3 その他 参加に伴う報酬及び交通費の支給はありません。

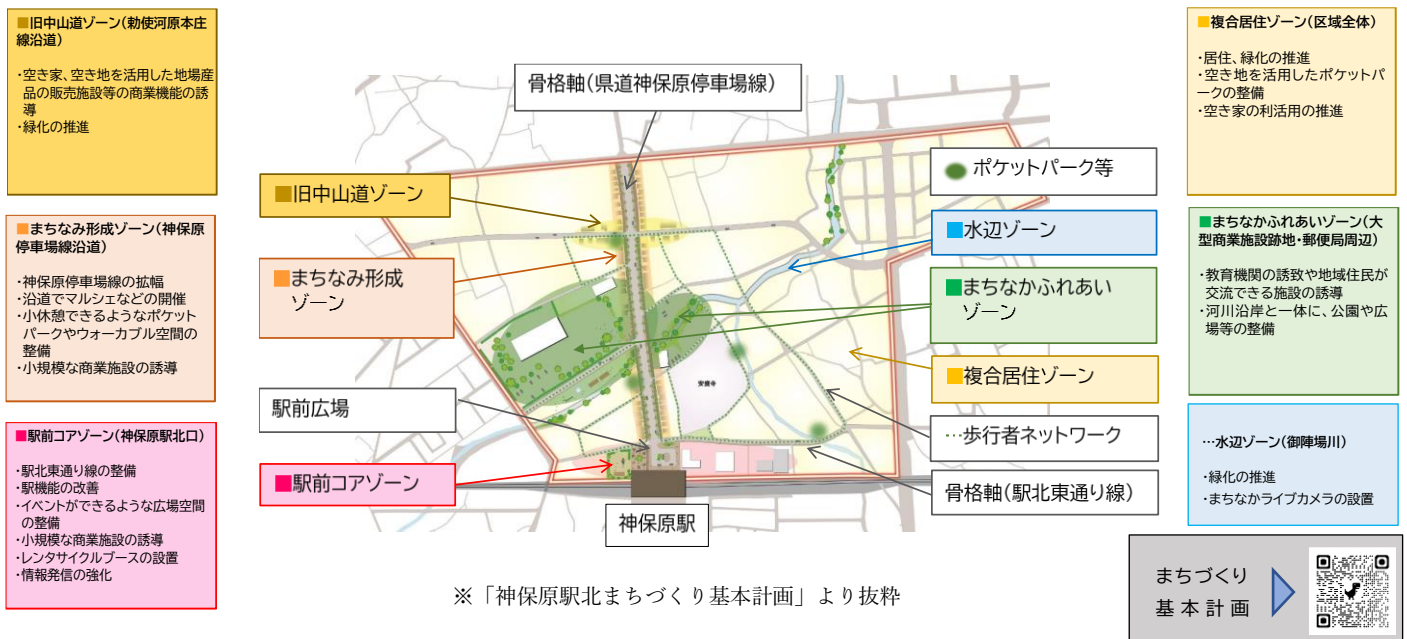
3. 実施方法

- ・1テーブル 8 名程度(4 テーブル)
- ・テーブルごとに 1 名ファシリテーターを配置する
- ・各テーブルに大判図面(ウォークアブル空間配置図/道路線形図等)と筆記用具等を用意し、図面を囲って議論を行う
- ・終わりに各テーブルの意見を取りまとめファシリテーターが発表する



4. 神保原駅北まちづくり基本計画図【参考】

「神保原駅北まちづくり基本計画」において、駅北周辺の魅力の向上や賑わいの創出に向け、空間の使い方や必要なしかけをゾーンごとに示したもので、これを基にまちづくりを推進していきます。



5. 検討体制図【参考】

駅前広場及び神保原停車場線等の整備に向け、ルートやウォークアブル空間のデザイン等について本体制により検討していきます。

